

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問合せ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 (トラストオフィスを除く) みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告方法	当社ホームページ (http://www.tn-sanso.co.jp) に掲載します。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所 株式会社大阪証券取引所 株式会社名古屋証券取引所
証券コード	4091
単元株式数	1,000株

中間報告書

自平成20年4月1日 至平成20年9月30日

第 5 期

大陽日酸株式会社



〒142-8558 東京都品川区小山1-3-26
TEL (03) 5788-8000 (大代表)
<http://www.tn-sanso.co.jp>

企業理念

進取と共創。ガスで未来を拓く。

行動指針

私たちは、

進取 あなたの声を敏感にとらえ、

共創 ガステクノロジーを通じて、あらゆる産業と共に、

未来 豊かな社会の実現に貢献します。

スローガン

The Gas Professionals

産業ガスのプロ集団になる、そして業界でNo.1のプロ、
第一人者であることを目指します。

目次

●企業理念	1
●株主の皆様へ	2
●製品別の動向（連結）	3
●連結業績の推移	4
●連結貸借対照表【要旨】	5
●連結損益計算書【要旨】	6
●連結キャッシュ・フロー計算書【要旨】	6
●TOPICS	7
●株式の状況	8
●株価および売買高の推移	8
●会社概要	9
●役員	9
●株券電子化による株式実務の変更	10

シンボルマーク



大陽日酸
The Gas Professionals

最先端の技術と自然の融合、そして酸素、窒素、アルゴンなど高度なガスコントロール技術で創り上げる「大陽日酸」の企業ドメインを象徴するこのシンボルは、高品質でクリーンな透明感のある、明るい未来への拡がり表現しています。

●株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成21年3月期における第2四半期を終了いたしましたので、ここに概況をご報告いたします。

当第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界経済の悪化や、急激な円高などにより、景気の減速傾向が顕著になってきました。

このような状況の下、当第2四半期累計期間における業績は、売上高2,559億90百万円（前年同期比4.8%増加）となりましたが、営業利益は181億43百万円（前年同期比8.9%減少）、経常利益は183億8百万円（前年同期比9.7%減少）、四半期純利益は99億36百万円（前年同期比11.0%減少）と、税制改正による耐用年数の変更に伴う減価償却費の増加や円高による為替換算の影響もあり、前年同期比で増収減益となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、1株につき6円といたしたく存じます。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

<連結決算ハイライト>

売上高	前年同期比 4.8%増加 255,990 百万円
営業利益	前年同期比 8.9%減少 18,143 百万円
経常利益	前年同期比 9.7%減少 18,308 百万円
四半期純利益	前年同期比 11.0%減少 9,936 百万円

※第2四半期累計期間



代表取締役会長

代表取締役社長

田口 博 松枝 寛祐

製品別の動向（連結）

■ガス事業

ガス事業については、化学産業など関連産業における減産の影響が一部で出ているものの、エレクトロニクス関連で特殊ガスの需要が堅調に推移したこともあり、売上高は1,750億19百万円（前年同期比7.2%増加）となりました。しかしながら、税制改正に伴う耐用年数の見直しによる減価償却費の増加等により、営業利益は140億28百万円（前年同期比13.0%減少）となりました。

■機械・装置事業

機器・装置事業については、空気分離装置の売上は、国内鉄鋼産業向けなど大型工事の進行基準売上が計上され前年同期を上回りましたが、電子機材関連工事・機器の売上は、前年同期に比べ大型案件が少ないことから減少しました。

その結果、機器・装置事業の売上高は705億35百万円（前年同期比1.5%減少）、営業利益は50億34百万円（前年同期比5.1%増加）となりました。

【主な受注工事】

空気分離装置2基、窒素製造装置3基など

【主な完成工事】

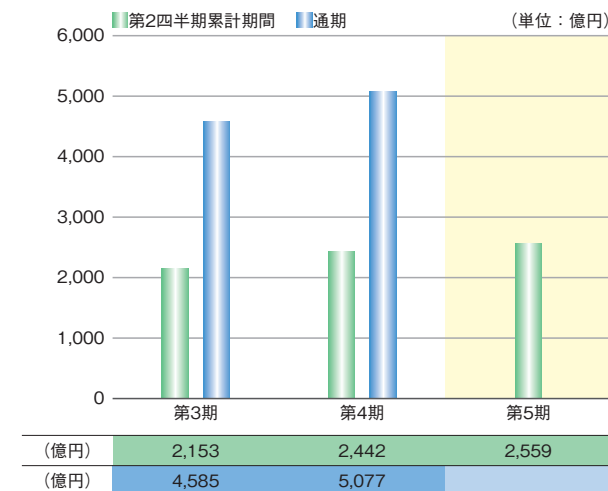
八幡共同液酸株式会社向け液化装置、
小型窒素製造装置2基、ヘリウム液化装置1基など

■家庭用品他事業

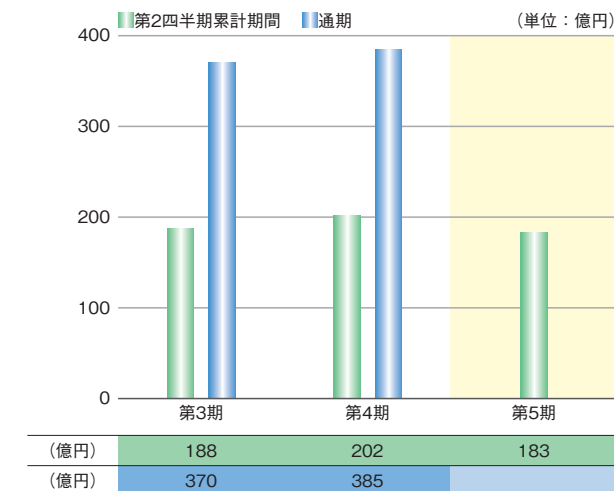
家庭用品他事業については、サーモス株式会社で主力のスポーツボトル、携帯マグの売上が好調に推移し、売上高は104億36百万円（前年同期比11.4%増加）、営業利益は16億70百万円（前年同期比46.8%増加）となりました。

連結業績の推移

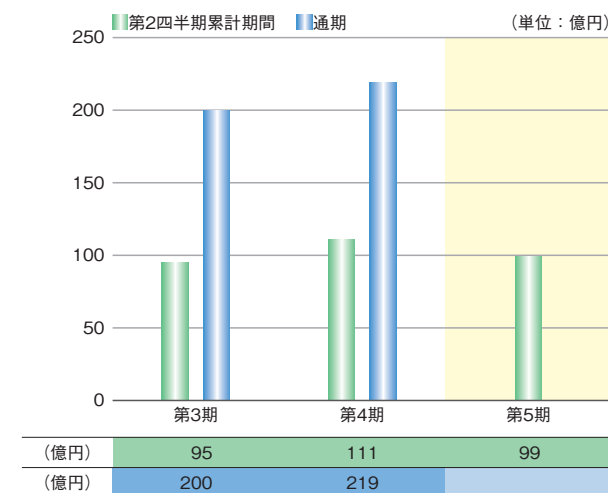
■売上高



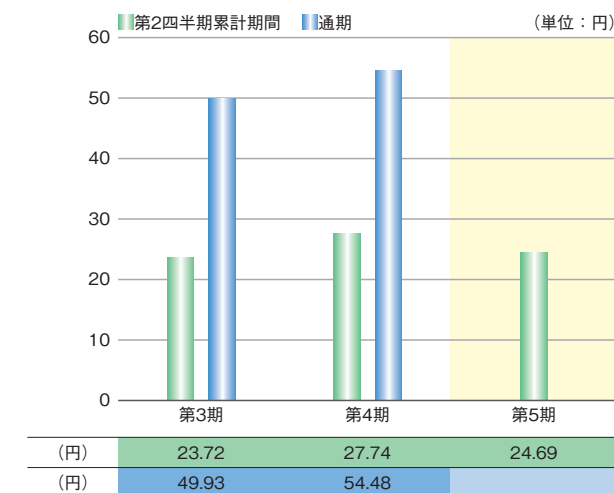
■経常利益



■四半期(当期)純利益



■1株当たり四半期(当期)純利益



■連結貸借対照表【要旨】

「当第2四半期連結会計期間末（平成20年9月30日現在）」

		(単位：百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	222,911	流動負債	183,379
現金及び預金	19,815	支払手形及び買掛金	93,895
受取手形及び売掛金	134,144	短期借入金	29,527
商品及び製品	22,472	コマーシャル・ペーパー	10,000
仕掛品	21,639	1年内償還予定の社債	15,000
原材料及び貯蔵品	6,681	未払法人税等	7,299
繰延税金資産	6,253	引当金	2,687
その他	13,011	その他	24,969
貸倒引当金	△1,105	固定負債	151,611
固定資産	323,182	社債	25,000
有形固定資産	218,171	長期借入金	79,799
建物及び構築物（純額）	45,757	繰延税金負債	27,543
機械装置及び運搬具（純額）	91,581	退職給付引当金	3,608
土地	37,461	執行役員退職慰労引当金	317
リース資産（純額）	1,137	役員退職慰労引当金	868
建設仮勘定	25,039	負ののれん	1,940
その他（純額）	17,193	リース債務	8,066
無形固定資産	34,606	その他	4,467
のれん	25,439	負債合計	334,991
その他	9,167	純 資 産 の 部	
投資その他の資産	70,404	株主資本	198,843
投資有価証券	49,734	資本金	27,039
長期貸付金	1,796	資本剰余金	44,912
前払年金費用	12,867	利益剰余金	127,307
繰延税金資産	2,237	自己株式	△416
その他	5,540	評価・換算差額等	△2,029
投資等評価引当金	△980	その他有価証券評価差額金	8,185
貸倒引当金	△792	繰延ヘッジ損益	△129
資産合計	546,093	為替換算調整勘定	△9,935
		その他包括損失累計額	△150
		少数株主持分	14,288
		純資産合計	211,102
		負債純資産合計	546,093

■連結損益計算書【要旨】

「当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）」

		(単位：百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
売上高	255,990	売上高	255,990
売上原価	177,240	売上原価	177,240
売上総利益	78,750	売上総利益	78,750
販売費及び一般管理費	60,606	販売費及び一般管理費	60,606
営業利益	18,143	営業利益	18,143
営業外収益	2,555	営業外収益	2,555
営業外費用	2,390	営業外費用	2,390
経常利益	18,308	経常利益	18,308
特別利益	312	特別利益	312
特別損失	156	特別損失	156
税金等調整前四半期純利益	18,464	税金等調整前四半期純利益	18,464
法人税、住民税及び事業税	8,084	法人税、住民税及び事業税	8,084
法人税等調整額	△283	法人税等調整額	△283
法人税等合計	7,800	法人税等合計	7,800
少数株主利益	727	少数株主利益	727
四半期純利益	9,936	四半期純利益	9,936

■連結キャッシュ・フロー計算書【要旨】

「当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）」

		(単位：百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,839	営業活動によるキャッシュ・フロー	22,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,907	投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,065	財務活動によるキャッシュ・フロー	5,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	△140	現金及び現金同等物に係る換算差額	△140
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5,858	現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5,858
現金及び現金同等物の期首残高	12,709	現金及び現金同等物の期首残高	12,709
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	777	連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	777
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,345	現金及び現金同等物の四半期末残高	19,345

TOPICS

中国揚州でシランガス充填会社を買収

当社は、中国江蘇省儀征市青山鎮化学工業園区内にあるシランガス充填会社を買収し、本年6月から「揚州大陽日酸半導体気体有限公司」として操業を開始しました。同社は、半導体事業のアジア戦略拠点として、シランガス供給を中心に事業拡大を図ります。



▲揚州大陽日酸半導体気体有限公司の外観

八幡共同液酸株式会社で新工場竣工

当社は、新日本製鐵株式会社殿との共同出資会社である八幡共同液酸株式会社の新工場を竣工いたしました。新工場の運営は、新日本製鐵株式会社八幡製鐵所殿が原料ガスなどの供給ならびに液化酸素、液化窒素の製造を担当し、当社が製品の販売を行います。この稼働により九州一円の産業界へ一層の安定供給が実現できます。



▲八幡共同液酸株式会社の外観

「膜・吸収ハイブリッド法」を用いたバイオガス濃縮装置をフィールドで実証

当社は、(財)地球環境産業技術研究機構 (RITE) 殿と「膜・吸収ハイブリッド法」を用いたバイオガス濃縮装置を共同開発し、実用化に向けたフィールド試験を実施し、その性能を実証しました。

「膜・吸収ハイブリッド法」は、もともと燃焼排ガス中のCO₂を分離・回収することを目的にRITE殿が開発した技術ですが、今回この技術をもとに開発した装置は、バイオガスの発生源においてメタンガスを高い回収率を維持しつつ低コストで濃度98%にまで濃縮することができます。

今後は、本格的な実用化に向けて更なる改良が図られます。

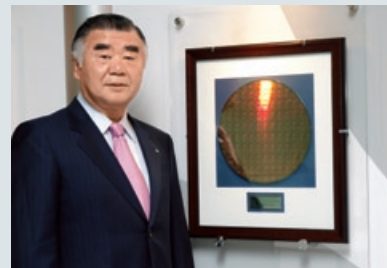


▲フィールド試験の実証機

IBM社殿と次世代半導体製造技術を共同開発 IMEC殿と緑色LEDデバイス製造技術を共同開発

当社は、子会社のマチソントライガス社を通じ、米国IBM社殿と32nm以降の次世代半導体および半導体プロセス技術における4年間の共同開発を行うことになりました。

一方、ベルギーの次世代半導体技術研究機関であるInteruniversitair Micro-Electronica Centrum vzw (IMEC) 殿と緑色高輝度LEDデバイス製造技術における共同研究を行うことになりました。



▲IBM社殿より贈られた記念プレート(松枝社長)

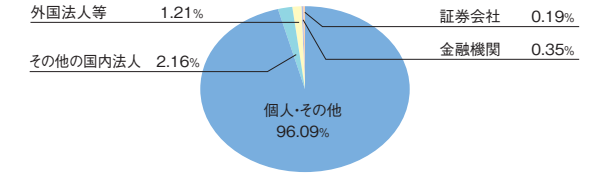
株式の状況 (平成20年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 1,600,000,000株
- 発行済株式の総数 403,092,837株
- 株主数 24,834名
- 大株主

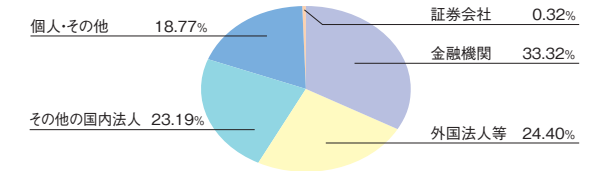
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	千株	%
三菱化学株式会社	40,947	10.16
JFEスチール株式会社	20,617	5.11
大陽日酸取引先持株会	17,623	4.37
明治安田生命保険相互会社	16,491	4.09
株式会社みずほコーポレート銀行	14,484	3.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,164	3.02
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505225	10,477	2.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	10,431	2.59
第一生命保険相互会社	10,037	2.49
農林中央金庫	10,000	2.48

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は、小数点第3位を四捨五入しております。

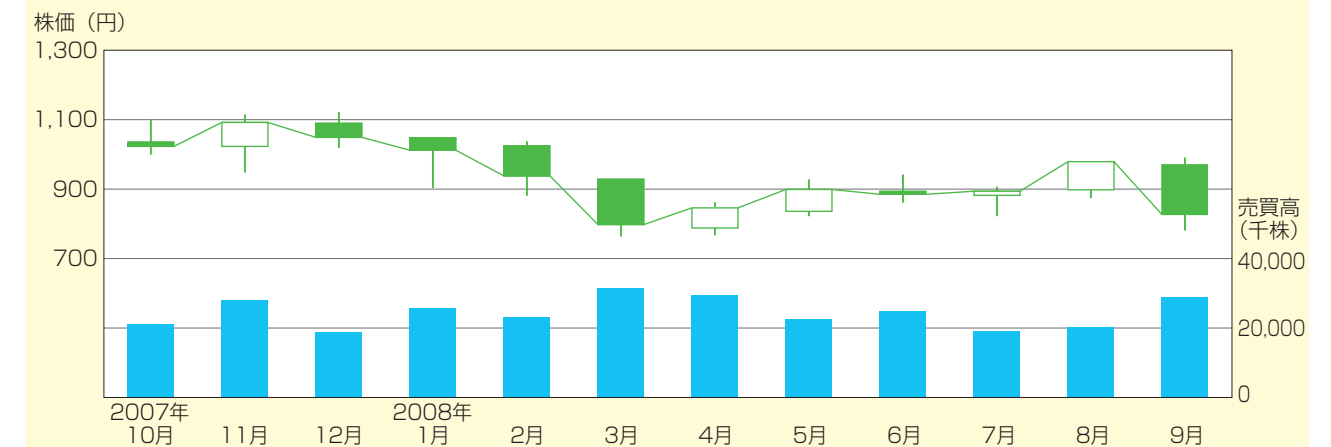
所有者別分布状況(株主数別) (小数点第3位を四捨五入)



所有者別分布状況(株式数別) (小数点第3位を四捨五入)



株価および売買高の推移



● 会社概要 (平成20年9月30日現在)

- 商号 大陽日酸株式会社
(英文名称: TAIYO NIPPON SANSO CORPORATION)
- 創業日 明治43年10月30日
- 設立日 大正7年7月20日
- 資本金 270億3,987万7,254円
- 従業員数 連結: 8,936名、単体: 1,473名
- 本社 〒142-8558 東京都品川区小山一丁目3番26号
TEL03-5788-8000
- 支社 東北支社、北関東支社、関東支社、中部支社、
関西支社、中四国支社、九州支社
- 事業所 京浜事業所、つくば事業所、山梨事業所、
川崎事業所、川崎水江事業所、小山事業所
- 関係会社 連結子会社: 71社、持分法適用会社: 29社、
非連結・持分法非適用会社: 169社

● 役員 (平成20年9月30日現在)

- | | |
|--------------|------------|
| 代表取締役会長 | 田 口 博 |
| 代表取締役社長 | 松 枝 寛 祐 |
| 代表取締役副社長 | 川 口 恭 史 |
| 代表取締役副社長 | 伊 東 和 彌 |
| 代表取締役副社長 | 二 松 敬 治 |
| 取締役相談役 | 於 勢 好之輔 |
| 専務取締役 | 黒 沢 裕 |
| 専務取締役 | 海老澤 憲一郎 |
| 専務取締役 | 原 文 雄 |
| 専務取締役 | 郷 東 洋 夫 |
| 専務取締役 | 山 下 仁 |
| 専務取締役 | 粕 谷 顯 一 |
| 常務取締役 | 佐 藤 敏 男 |
| 常務取締役 | 伊 藤 彬 |
| ※1 取締役 (非常勤) | 富 澤 龍 一 |
| 取締役 (非常勤) | ウィリアム・クロール |
| 常勤監査役 | 畑 上 利 郎 |
| 常勤監査役 | 藤 田 清 |
| ※2 常勤監査役 | 清 田 啓 一 |
| ※2 常勤監査役 | 小 山 滋 |

(注) ※1は社外取締役であります。
※2は社外監査役であります。

● 株券電子化による株式実務の変更

- ・株券をお持ちの場合
- ・株券を不所持にされている場合
- ・登録单元未満株式がある場合 (例えば1单元=1,000株の場合、1,620株ご所有であれば620株分が登録されている場合があります。)

⇒株券は無効になります。株式は特別口座において管理されます。

	平成20年12月30日まで	平成21年1月5日より
郵便物送付先	〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7 みずほ信託銀行 証券代行部	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先 (フリーダイヤル)	0120-288-324 (変更ありません)	
取扱業務	名義書換、住所変更、氏名・名称・代表者等変更、相続、届出印変更、配当金振込指定、株券交付、单元未満株式の買取・買増、未払配当金の支払、支払明細発行、株式異動状況等証明発行、株券喪失登録等	自己名義振替口座への振替、住所変更、氏名・名称・代表者等変更、相続、届出印変更、配当金振込指定 (株数比例配分方式を除く)、单元未満株式の買取・買増、 未払配当金の支払、支払明細発行、株式異動状況等証明発行 (株券交付、株券喪失登録等はなくなります)
取扱店	(株主名簿管理人取次所) みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 (トラストオフィスを除く) みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店	(特別口座管理機関取次所) みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 (トラストオフィスを除く) みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

・証券会社の口座を開設されて預託されている場合

	平成20年12月30日まで	平成21年1月5日より
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	
電話お問い合わせ先		
取扱業務	未払配当金の支払、支払明細発行以外 (※)	

※未払配当金の支払、支払明細発行については、上の「・株券をお持ちの場合」等と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・取扱店をご利用ください。